

2023年11月1日

「exaBase Studio」の導入 ～生成AIの安全かつ効率的な活用の実現に向けて～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:隅野 俊亮、以下「第一生命」)は、株式会社エクサウィザーズ(代表取締役社長:春田 真、以下「エクサウィザーズ」)が提供する exaBase Studio を活用し、ChatGPT 等の生成 AI の安全かつ効率的な利活用を目的とした AI 活用プラットフォーム(以下、AI 活用プラットフォーム)構築に着手いたします。

1. 第一生命における生成 AI の活用

ChatGPT をはじめとした生成 AI は多くの課題解決に効果を発揮するため、その安全かつ効率的な活用環境を整備することは重要な経営課題として捉えています。

一方で生成 AI は利便性をもたらすと同時に、秘密情報・個人情報の漏えいや、誤りを含む情報を提示する事象(ハルシネーション)を惹起する懸念を有していることから、第一生命では、AI 利用に関するリスクコントロールを図りながら、AI 開発における俊敏性・迅速性を高める仕組みを構築することで、生成 AI を幅広い業務へ適用する体制作りを進めていきます。

2. AI 活用プラットフォームの特長

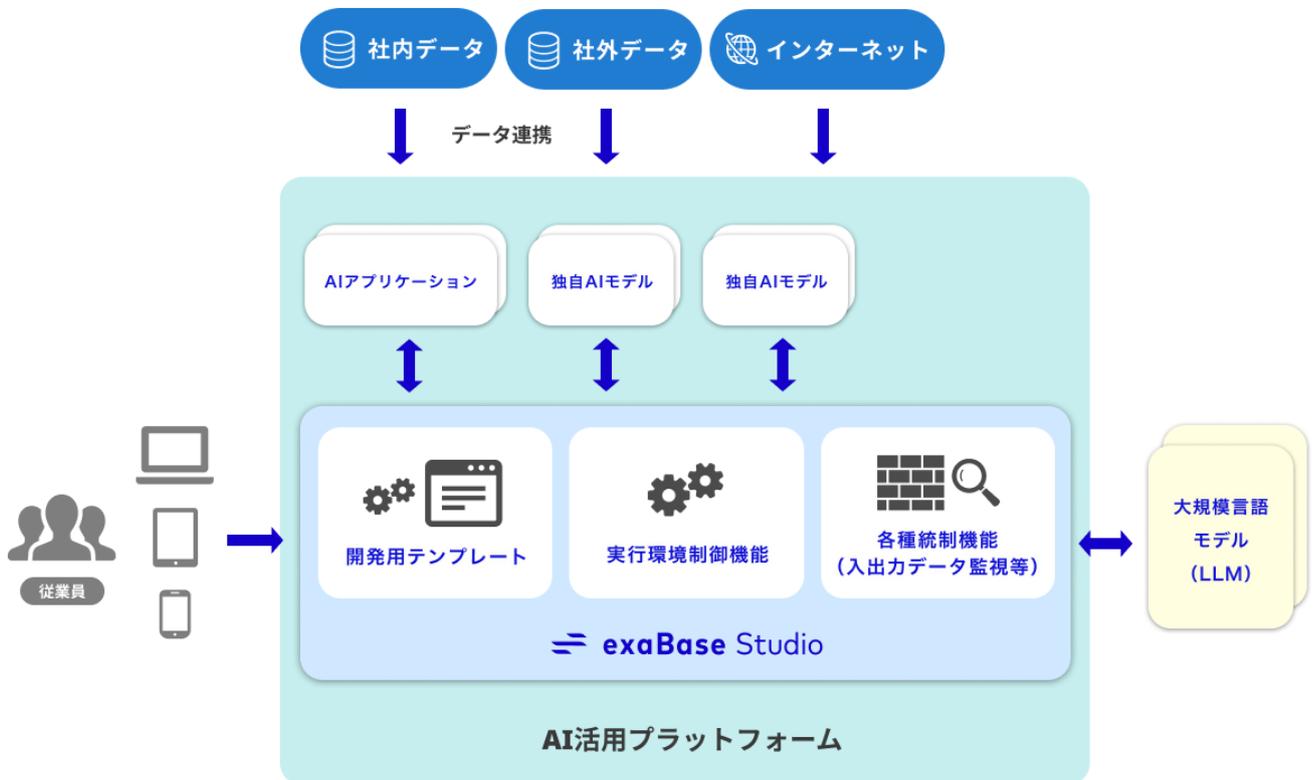
生成 AI 実装において安全かつ効率的に活用する機能として、利用ログ・入出力データの記録やハルシネーションチェック等がテンプレートとして提供されている、exaBase Studio を AI 活用プラットフォームの中核として活用を進めていきます。

今般、exaBase Studio を活用した実証実験として、以下業務を効率的かつ高度化する仕組みの構築に着手し、社内での活用を段階的に進めていきます。exaBase Studio が提供する、ローコードの開発・運用環境の活用により、約 50%の開発生産性向上を見込んでいるとともに、市民データサイエンティスト¹による AI 実装の内製化を推進していきます。

- ・レポート作成：社員の設定した内容に基づいて、社内の各種のデータソース(データベース、Excel など)に保持されている情報と、インターネット上にある外部の情報を統合し、生成 AI が社員の様々な活動に必要なレポートを自動で作成する。
- ・書類のひな型生成：社員が行政など外部に提出するドキュメント(申請書類等)の種類を指定すると、生成 AI が各種法令や社内のガイドライン、過去の書類などをもとにしてチェックを行い、ひな型となる文書を提案する。

¹ 専門的なデータサイエンティストでなくても使える便利なツールを通して、データ分析・AI 活用を行う人財

■ AI 活用プラットフォームの利用イメージ



※LLMはMicrosoft Azure OpenAI Service を利用

今後、生成 AI 活用により、社内業務のさらなる生産性向上に取り組んでいくとともに、AI 活用プラットフォームを国内外の多様な AI モデルと連携可能な中継基盤として拡張し、お客さまの利便性向上に貢献するサービスを安全に提供していきます。

3. exaBase Studio について

「exaBase Studio」は、エクサウィザーズが提供する、課題解決にむけた AI サービスの設計/開発/現場運用をオープンかつアジリティ高く進めることを可能とするプラットフォームです。わかりやすい UI(ユーザーインターフェース)を備え、開発の煩雑な手順を半自動化することで、開発プロセスを大きく変え AI の利活用を促進します。経営者や業務をよく知る社内人材を巻き込んだ AI サービスの設計・更新がしやすく、「動くものを触りながら改善する」アジャイル型のサービス開発を可能にします。

exaBase Studio は、GPT 等の LLM を用いた AI サービスの内製開発など、先進的な取組みを加速したいと考える企業を中心に提供を開始中であり、今期の本格展開を見据えています。

※詳細は「<https://exawizards.com/exabase/studio>」をご覧ください